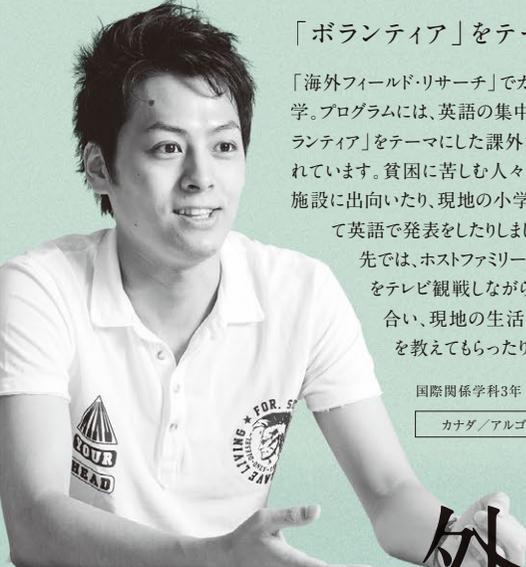


Canada



「ボランティア」をテーマに、カナダ社会に密着した留学体験。

「海外フィールド・リサーチ」でカナダへ3週間留学。プログラムには、英語の集中授業とともに「ボランティア」をテーマにした課外活動が組み込まれています。貧困に苦しむ人々が暮らす地域の施設に出向いたり、現地の小学校で日本について英語で発表をしたりしました。ホームステイ先では、ホストファミリーと毎晩カーリングをテレビ観戦しながら、いろいろと語り合い、現地の生活習慣や文化などを教えてもらったりとホームステイな

らではの貴重な経験ができました。カナダの社会や人々に密着した3週間の留學生活で気づいたのは、自分が日本のことを全然知らないこと。また、英語がうまく通じなくても、「もっと食欲に質問をすれば良かった」と後悔もあります。留学をきっかけに、帰国後は「留學生との交流」や「英語だけの授業」に積極的に参加して、あえて自らを英語しか話せない環境に身を置いています。その甲斐もあってか、留學生に「長期留学をしていたの?」と聞かれるほど英語力が伸びています。

国際関係学科3年 馬場 竜士さん
カナダ/アルゴマ大学(海外フィールド・リサーチ)1年次留学

全員が在学中に海外実習を経験

1年次に海外で学ぶ必修科目
海外フィールド・リサーチ
(国際関係学科独自の留学制度)

国際関係学科では、1年次終了前の春休みに英語と国際関係を学ぶ「海外フィールド・リサーチ」を必修科目として設けています。約3週間、ビジネスや環境保護など、それぞれの研究テーマに基づく実践的な学びを体験します。

- 海外フィールド・リサーチ研修先(2016年度対象校)
-  アルゴマ大学 (カナダ) テーマ: ボランティア・地域貢献
 -  ポートランド州立大学 (アメリカ) テーマ: ビジネス
 -  カーティン大学 (オーストラリア) テーマ: 環境・多文化主義
 -  オークランド大学 (ニュージーランド) テーマ: 社会・文化とそのグローバル化



◎交換・派遣留学を経済面からサポート

外国留学支援金	海外留学特別奨学金*
交換・派遣留學生に最大55万円を支援	交換留學生に年額100万円の奨学金
京都産業大学は留学への支援金制度を設け、交換・派遣留學生には最大55万円を、認定留學生には最大45万円を外国留学支援金として支給します。	交換留學生のうち一定の学力、語学力要件などを満たす成績優秀者に対し、年額100万円の奨学金を支給する制度を設け、留学を奨励しています。

*外国留学支援金および他奨学金との重複支給が可能です。

外国語を学ぶ、世界で学ぶ。

国際関係学科は「英語学習+社会科学」の学び

集中的な英語学習に加え、政治学・経済学・社会学といった社会科学系の学びの視点からアプローチする国際関係学を学びます。さまざまな国際問題を英語で学ぶことが、外国語学部の国際関係学科ならではの特色です。

国際関係科目

国際関係・国際社会の諸側面を、幅広くかつ専門的に学びます。正確な知識・理解をもとに、問題意識を明確にし、意見の表明・行動につなげることが目標です。

英語科目

まずは、「読む」「聞く」「話す」のベーシックな英語力を養成。さらに、日常会話にとどまらず専門的な内容も含めて「書く」「論じる」ためのハイレベルな英語力を磨きます。



実践的なビジネスを学ぶ。現地の大学生とともに

ずっと夢に描きながら、費用面で不安だった長期留学。私は経済的なサポートが大きい交換留学で実現できました。留学先ではまず3ヵ月は英語を中心に学習し、その後ビジネスコミュニケーションやホスピタリティなど、現地の大学生と一緒に経営学を学びました。将来旅行業界を志望している私にとって、レストランやウエディングの運営を学べる授業や、観光業の最前線で働く人を招いた講義は実践的で役立つものばかり。しかし、英語で専門分野を学ぶ、グループワークが中心の授業は、予想以上にハイレベルでした。内容が理解できなかったり、伝えたいことが伝わらなかったり、最初はメンバーの足を引っ張ることもしばしば。わからないことは先生にじっくり質問したり、ホストファミリーが会社を経営していたこともあり、授業の課題を相談するなど、諦めず頑張ったことで最終的にはテストで1位を取るほど成績が伸びました。約1年間の留学経験を通じて、語学だけでなく、粘り強さや行動力も付き、自分でもたくましくなったと思います。

国際関係学科4年 田中 恵利香さん
ニュージーランド/クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学(交換留学)3年次留学



New Zealand

世界で活かす「英語力+豊かな国際感覚」